

第 44 回家族会

令和元年 5 月 18 日土曜日に第 44 回目の家族会を開催致しました。令和初の開催となった今回は、「獣医さんに聞く動物のギモンあれこれ」と題しまして、甲府で動物病院を開業されている内藤獣医師に皆様から頂いた質問に答えてもらう形でお話していただきました。



参加者は患者さん、ご家族 13 名、スタッフ 3 名計 16 名ほどでした。

内藤先生のお話からは動物への愛情の深さがとてもよく伝わってきて、内容も大変興味深く、とても探究心がくすぐられるお面白いお話でした。売店の方も動物を飼われているみたいで聴いていてくださいました。

話の中で肉球の話があったのですが、みなさんはあのなんともいえない感触の肉球ってどうしてあるかご存知ですか？わたくしは知らなかったのですが、肉球の機能は①体温調整機能②クッション機能③地面からの冷たさや熱から身を守る④スパイクの役割などだそうです。犬などは汗腺がヒトと違って鼻と舌と肉球にしかないようで、犬は暑いときには舌を出してはあはあし、鼻を濡らしながら、体温調節をしているそうです。

また犬などにもヒトと同じように生活習慣病があるようで、食事などに気をつける必要があるそうです。ただ最近ではフードが充実しているようで、シニア向けのフードやサプリメントなどもあるのでそれらを食べさせるといいそうです。このような興味深いお話をわかりやすく、補足説明を加えて丁寧にお話していただきました。さらには参加者の方からの質問にまで適切にお答えいただきました。

ほかにもここに載せきれない Q&A をファイルに添付いたしますのでぜひご覧ください。

最後に患者さんの質問と内藤獣医師の答えがとても印象に残ったので載せさせていただきます。

患者さん：「私が入院することになって飼い犬と離れ離れになってしまって…飼い犬が夢に出てくるほど寂しくて…」「犬も私と同じように寂しいと感じているのでしょうか？」

内藤獣医師：「感じていると思います。」「私の飼っている犬も私がお家にいないときにはなんだか落ち着かない様子だそうです」「動物も同じように寂しいと思っていますよ」と。



内藤獣医師は、「動物とヒトとの間には昔から深い絆があった。昔は犬がヒトをオオカミから守っていたり、猫が人間の食べ物をネズミなどから守っていたりと、ヒトが動物に助けられていました」「現代ではヒトが犬や猫を助けていますがその絆は今も昔も変わらない」と仰っておりました。その深い絆が動物とヒトとの間に

確かに存在するからこそ、先述の患者さんのように動物が大切なパートナーとしてお互い
支えあいながら同じ時間を共有していけるのだと感じました。

最後に、家族会を開催するに当たりご協力してくださった内藤獣医師をはじめ、多くの関係
者の方々のご支援に感謝いたします。

次回は「足の形から考える靴の選び方(仮)」をテーマに7月20日に開催予定です。皆様
のご協力をお願いいたします。

文責 原田